



よこはまプロバス通信 41号

2026年 2月 発行

<https://yokohama1probus.com/>

情報委員会・編集委員
発行所:事務局内
横浜市金沢区並木3-3-10-204
松下方 045-784-6549

2026年1月9日 第278回 賀詞交歓会

出席者) 岩城、關、東野、森山、関口、大久保、荻原、保谷、松下、平野、加藤豊、樋口、富永、宮川、須藤、小西、神谷、持田、小野寺、丹野、内山、松原、倉嶋康、倉嶋伸、鈴木国、佐藤、鈴木功、前田 赤字は欠席者

開会(司会)神谷幹事 今年度、最初の新春例会を開催したい
と思います松下会長、ご挨拶をお願いします

皆様、新年あけましておめでとうございます



思っております。 本日は大里慶三様、米寿をお元気に迎えられおめでとうございます。川崎で公認会計士として半世紀以上ご活躍、現在も現役、矍鑠(かくしゃく)としたお姿、生き生きとした表情を拝見し、安心と同時にご老人、お年寄りとお呼びしてよいものか考えてしまいます。



会長 松下尚雄

皆様のお元気そうなお顔がみられ、今年も楽しく過ごせそうです。

今回の新春例会にお忙しい中、横浜山手ロータリークラブより小倉豪太郎会長、正木光一幹事、ご出席いただき誠にありがとうございます。

今年は、六十年に一度の「ひのえ午」世の中を明るく照らす年です。

良いこと、悪いこと、全てを明る身に照らされる年でもあります。又、本年も新年よりアメリカのベネズエラ攻撃、ロシアとウクライナ、イランを含む中東、中国と台湾、高市総理の台湾問題発言等、侵略戦争の正当化につながりそうな一年になりそうです。日本列島を強く、安全な国家に導いて欲しい

人生100歳時代と若返っている社会です。実年齢の七掛の時代です。先生は62歳、どうぞ豊富な知識と経験を私たち後輩にご教授ください。今後ますますご健康で長寿を重ねられご活躍をいただける事お祈りしております。高齢化社会、単身世帯が増え「最後は一人」が当たり前前の社会、時代に向かっております。皆様もご家族は勿論の事、ご近所のお付き合いを大事に毎日楽しく暮らしましょう。

最後に残り半年間の任期を皆様のご協力、ご指導をいただき無事に次期会長に引き継ぎたく思っております。

新春特別寄席 参遊亭遊助師匠 (豆生田元会員)

「ちりとてちん」は、腐った豆腐を珍味と偽って知ったかぶりの男に食べさせる噺で、大阪では「ちりとてちん」、江戸では「酢豆腐(すどうふ)」と呼ばれ半可通を揶揄する演目です。またお弟子さんが急遽来れなくなり「無精床」を語っていただきました。さすがです また英語での落語の一節を披露してくれましたが。 ??? (英語が苦手な会員ため)



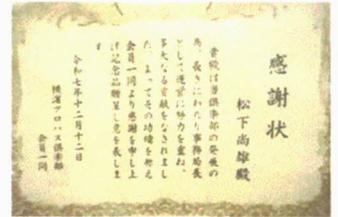
2025年12月12日 (277回 例会 & クリスマス会

(出席者) 岩城、關、東野、森山、関口、大久保、荻原、保谷、松下、平野、加藤豊、樋口、富永、宮川、須藤、小西、神谷、持田、小野寺、丹野、内山、松原、倉嶋康、倉嶋伸、鈴木国、佐藤、鈴木功、前田、渡辺昭、斎藤、渡辺敏、岩崎、林、大里
以上 22/34 赤字は欠席者

過去15年以上に渡り 横濱プロバス倶楽部 を支えてくれた 現会長松下氏に感謝状



旅行、イベント 他クラブとの交流 など打ち合わせ、すべての例会、移動例会、イベント等 に出席されました。特に青森での全国大会の時、帰りの新幹線 盛岡駅に10分停車のとき階下の売店まで20人分のお弁当を5人の先頭に立ち、ダッシュして 買いに行ってくれたこと 影の立役者として 会員一同から感謝を込めて、推薦されました。



<クリスマスパーティー> バイオリン演奏とプレゼント抽選会

進行 加藤例会委員長



屋敷天音(やしきあまね)様 神奈川県横浜市出身。5歳よりヴァイオリンを始め、東京音楽大学音楽学部音楽学科を卒業



神奈川県出身。下里禎子(しもさとりようこ)様 4歳よりヴァイオリンを始め、東京音楽大学音楽学部音楽学科を卒業。



演奏時間約1時間 クリスマスにふさわしい曲から 情熱大陸 そして 我々世代の懐かしい曲、上を向いて歩こう 君といつまでも、等バイオリンの演奏で 年を忘れて、大いに楽しみました

大抽選会(プレゼント交換) 各会員が1500円相当のプレゼントを持ち寄り 例会委員長はじめ担当会員がくじ引きで交換



2025年 10月10日 移動例会

10時 JR小田原駅集合



社会科見学の小学生や外国人観光客と共に、天守閣まで登り、各階に展示された小田原城の歴史展示を観覧した。北条早雲の戦国時代から江戸時代を経て、明治・大正(関東大震災)・昭和、そして現在に至る攻防の小田原城、破壊と再建の歴史を改めて学ぶことができた。台風一過で秋晴れの下、展望デッキからは小田原市内と相模湾を一望することができた。

場所を移して 275回 例会 小田原駅前の居酒屋で



2026年1月14日(水)第104回ボウリング同好会 & カラオケ同好会

参加者は6名(内山、樋口、關口、田島、渡辺、持田)で定刻時間前に 集合し、ボウリング会場へ移動して競技を開始した。1、2フレームも田島さんが好調で優勝カップを田島さん、2位 持田会員 3位 樋口会員でした。

終了後、カラオケ会場へ移動し5名(内山、樋口、關口、渡辺、持田) とカラオケ会場へ直行の加藤会員と合流して6名カラオケ同好会新年会開催した。

(持田 記)



2025年12月1日(月)横濱プロバス倶楽部ゴルフ同好会

東京多摩プロバス様から2名参加

大森野カントリークラブで開催した。当日は絶好のゴルフ日和で11名の参加者で競技を開始した。結果は優勝 保谷会員、2位 伊藤氏(東京多摩プロバス)、3位 齋藤会員 で横濱プロバスの活躍が見られました。

(持田 記)



野島公園バーベキュー (2025年11月7日実施)

9時頃には松下、持田、渡辺敏さんと小西さん親子が集合し、火起こし、野菜の下処理等に取り組んだ。開始時間の11時には、多摩プロバス3名を含めてほぼ参加者がそろった。バーベキューでは質を重視して確保した高級食材を、焦がし過ぎないように丁寧に整えた。中でもサーモンフィレの刺身は、大好評だった。加えて、飲物も種類豊富で大量に用意されていた。本日はこれまでになく天候に恵まれ、風もない温かいバーベキュー場で参加者全員(16名)が、大いに飲み食い交流して心ゆくまで楽しんだ。

午後3時 解散

(記 樋口)



スマホ勉強会 2025年11月25日(火)14:00~16:00

開催場所: かながわ県民活動センター 708

講師 三井氏 出席者 關口、富永、渡辺(昭)、渡辺(敏)、大里

○アプリ「Phonto」を使い、写真に日時など名入れする方法について学習

16:00 近くで会員になったカラオケ屋で頭を冷やした (記 富永)



相続の3回目 遺言書について

1回目、2回目はホームページ参照

相続に際して相続人が困る事柄は ①相続財産がどこにあるか次に ②相続財産の配分(どの財産を誰が相続するか) ③ 相続税の納付財源の有無であります。今回は①と②を一挙に解決するのが遺言書ですが、実務では相続人の思い通りの遺言書ができあがっているとは限りません。今回はよくはある極めて大雑把な実際にあった遺言書を取りあげました。この遺言書は相続財産の明細は記載されておきませんが ②の配分のみの記載ですが非常に役に立ちました。いわゆる相続争いが回避できたことです。それは相続財産の何がほしいと面と向かって言うことは勇気がいることです。

自筆遺言が効力を発揮するには家庭裁判所の検認を必要とします。今回取り上げた遺言書はこの後裁判所の検認を受けて遺言書通り相続財産のすべてを配偶者が相続しました。長女は遺留分の侵害を受けているからと不満がありましたが、数十年前に土地と建物の贈与を受けているとの母の説得に主張を取り下げました。もしこの遺言がなければ今回の相続はもめたこと間違いのないと思います。

遺言書を作成するに当たって注意することは、相続人が相続するに当たって最小限度うけ取ることができる財産取得権を侵害しないようにすることです。今回の慰留分は法定相続分の1/2で長女はこれを主張したのです。もめると家庭裁判所に調停を申し立てかなりの時間と費用(弁護士に依頼)がかさみ 家族仲間に後味の悪い結果を残すこととなります。

相続財産は亡くなった人だけが知っている場

合、この財産を探し当てることが分からないことがままあります。生前に6千万円預金引き出され、その内2千万円は判明しましたが残り4千万円が相続税の申告期限までに不明でしたので、この金額を申告しないこともありました。4千万円の財産



しかも預金は所得税を負担した後の金額ですから 所得税を負担する前では大変な金額で、一瞬の内になくしたことになり被相続人もさぞ残念というしかありません。預金者不明で引き出しに 来ない預金が金融機関にあって 相当な金額あると新聞紙上に報道されています。その原因の一つに遺言にあるのはでないでしょうか。

遺言者にも生前、面倒を見て貰った人にくばくかの謝礼を考えている場合、相続人がいないなど家族環境が普通でない時は生前の親切に報いるために遺言を準備しておくことも考えて良さそうです。お金をあげたいと考えるとき、生命保険に加入して受取人を指名しておくこともできます。

今回は自筆遺言のみの説明でしたが、複雑な遺言でしたら、公正証書遺言でしっかりとガードを固めておくことも肝要かと思えます。



編集後記

編集(関口)にあたり荻原氏のアドバイス、誤字、脱字、レイアウトの指示等があり何回ものやり直し印刷し直しを経て 森山氏の了解がやっと取れ発行に至りました。 会報の難しさが身にしみて今までの森山氏と荻原氏のコンビの偉大さが改めて知りました。